JAC創立100周年記念国内登山(中央分水嶺踏査)の山行報告書

(1)～(8)は必ず記入してください。(9)～(11)は、気づいた事項があれば記入してください。

(1) 担当支部:	熊本支部	(2)記載者氏名:	加藤　功一	会員番号:	11771	事務局整理記入欄			熊本－19
分水嶺区分	K132とK133の間の標高点			(3)山行日:	2005年	3月	2日	(4)天候:	晴

(5)参加者氏名および会員番号

加藤　功一	11771		
		計	1名

サポート要員氏名および会員番号

		計	名

(6)山行記録・位置確認(出発点・ピーク・峠・到達点など、主要ポイントに関して)・所要時間・道の状況

ｺｰｽ概略:	K132(門割尾根分岐)～K133(国見岳)間の標高点の踏査
ｱﾌﾟﾛｰﾁ:	熊本～(自動車)内大臣、旧営林署事業所跡～(マウンテンバイク)新国見岳登山口

地点ｺｰﾄﾞ	地点名	2.5万分の1 地形図名	経度E 度	分	秒	緯度N 度	分	秒	高度 m	到着 時刻	出発 時刻	道の 状況	(8)～(11)の特記 事項との関係
歩行開始点	新国見岳登山口	国見岳							·		10:35		
分水嶺到達点	標高点・高岳分岐	々	131	1	24.5	32	33	12.2	1,549	13:55	14:00	B-1	(8)
	標高点												
分水嶺離別点	長谷登山口分岐	国見岳	131	1	15.3	32	32	57.2	1,670	14:40	14:50	B-1	(8)、(11)
歩行終了点		々								16:00		B-1	
										総歩行時間(休憩時間を除く):			5時間00分

(7)三角点の位置と保存状況

上記(6)の地点ｺｰﾄﾞを記入してく	点名	等級	方位	保存状況	特記事項

(8)人工施設の現況および地形図との相違点

・標高点:高岳分岐の道標あり(高岳まで120分、国見岳まで40分)
・標高点:長谷登山口(門割林道)の道標あり(高岳まで140分、国見岳まで15分)

(9)水および植生に関連した特記事項

・登山道の上部は原生林でブナ、ツガ、モミ、リョウブ、シナノキ等の大木に覆われている。
大木の下にはスズタケが多いが、鹿に葉を食べられ枯れている。

(10)その他の特記事項

(1)本区間は、昨年の台風で道路が決壊して、途中で交通止になっているので、そこから先はマウンテンバイクを使用した。
交通止で人が入らず道路が荒れており、目標としていた椎矢峠まで行けず、新国見岳登山道から踏査した。
時間切れでK131(高岳)、K132(門割尾根分岐)は踏査できなかった。
(2)山が深いため、鹿が沢山見られた。

(11)写真の添付:(有りの場合には、写真説明を記入してください)

写真説明:
・標高点:長谷登山口分岐の道標

山行報告書（続き）
表面（1ページ目）に書ききれなかった事項を記入してください。

長谷登山口分岐の道標